

# 総合評価落札方式の運用ガイドライン 改定概要

---

## 総合評価落札方式の運用ガイドラインの改定

- 平成23年度に検討した総合評価落札方式の改善(案)を踏まえ、その具体的な運用を示した「総合評価落札方式の運用ガイドライン」を上半期中に改定する。
- 施工実績の評価の適切な運用を図るために、“同種工事”と“より同種性の高い工事”の設定例を工種毎に作成し、同ガイドラインの参考資料として年度内に作成する。

### 〔ガイドラインの構成案と改定のポイント〕

ガイドラインの構成(案)		主な記載内容
第1章	総合評価落札方式の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価落札方式のタイプ選定</li> <li>技術評価の基本的な考え方</li> </ul>
第2章	施工能力評価型における審査・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施手順</li> <li>入札説明書</li> <li>競争参加資格要件と総合評価項目</li> <li>技術的能力の審査(競争参加資格の確認)</li> <li>総合評価項目の審査・評価                             <ul style="list-style-type: none"> <li>評価項目の基本的な考え方</li> <li>評価項目と評価方法</li> </ul> </li> <li>技術提案評価型(A型)の手続き(技術提案の改善、予定価格の作成)</li> </ul>
	<table border="1"> <tr> <td>施工能力評価型(I型)</td> </tr> <tr> <td>施工能力評価型(II型)</td> </tr> </table>	
施工能力評価型(I型)		
施工能力評価型(II型)		
第3章	技術提案評価型における審査・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術提案評価型(S型)</li> <li>技術提案評価型(A型)</li> </ul>
	<table border="1"> <tr> <td>技術提案評価型(S型)</td> </tr> <tr> <td>技術提案評価型(A型)</td> </tr> </table>	
技術提案評価型(S型)		
技術提案評価型(A型)		
第4章	総合評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価値の算出方法</li> <li>技術評価点の算出方法</li> </ul>
第5章	総合評価落札方式の結果の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果の公表</li> <li>技術提案の採否の通知</li> </ul>
第6章	総合評価落札方式の評価内容の担保	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術提案履行の担保</li> </ul>
第7章	総合評価落札方式の試行	<ul style="list-style-type: none"> <li>試行方式の記載</li> </ul>
第8章	過去の施工実績・施工経験の評価方法	
参考資料	同種性の設定例	
	工事難易度評価の小項目運用表(改定案)	

### 改定のポイント

- ◆ 施工能力の評価と技術提案の評価に二極化
- ◆ 施工能力の評価を大幅に簡素化
  - 施工能力評価型(I型)では、施工計画の点数化はせず可否(○・×)のみを審査
  - 施工能力評価型(II型)では、施工計画を求めずに施工能力を評価
- ◆ 技術提案の評価は品質の向上が図られることを重視
  - 技術提案の適切な求め方、評価の考え方を記載
- ◆ 評価項目は原則、品質確保・品質向上の観点に特化
  - 施工実績、成績、表彰を基本とし、施工能力を判断できる評価項目を適宜設定する。
  - 社会資本整備、管理に直接的に関係ない項目は設定しない
- ◆ ヒアリングと段階選抜の考え方を記載
  - ヒアリングは、配置予定技術者の監理能力、施工計画の適切性、技術提案の理解度を確認
  - 段階選抜による競争参加者の絞り込みを試行し、技術提案の審査・評価やヒアリングの実施に係る受発注者の負担を軽減